

財団法人日本文学振興会  
最初の評議員選定委員会 議事録

1. 日時 平成 21 年 4 月 20 日 ( 月 ) 午後 4 時 ~ 5 時半
2. 場所 東京都千代田区紀尾井町 3 番 23 号 本法人会議室
3. 出席者  
[ 委員出席 ] 安部秀次郎 桐原良光 関根徹 藤井輝久 明円一郎  
[ 議案説明等 ] 上野徹 ( 理事長 ) 鈴木文彦 ( 常務理事 ) 笹本弘一 ( 理事 )
4. 議案 第 1 号議案 議長選出について  
第 2 号議案 最初の評議員の選任について

5. 会議の概要

( 1 ) 議案の説明等

冒頭で上野理事長が、本委員会の委員 5 名全員の出席を確認し、本年 2 月 4 日付で文部科学大臣より「最初の評議員の選任に関する理事の定め」について認可を受けたこと等、本日の委員会開催に至った経緯を説明した。

次に鈴木常務理事より資料の配付があり、公益財団法人への移行を前提とした新定款案における評議員および評議員会の有する権限、規定の内容について説明したあと、各議案について説明を行った。

( 2 ) 議案の審議状況および議決結果

第 1 号議案 議長選出について

理事長が、互選により本委員会の議長を選任するよう求めたところ、出席委員全員一致で関根徹委員を議長に選出した。

議長は本会議の成立を宣し、第 2 号議案の審議に移った。

第 2 号議案 最初の評議員の選任について

理事長から、本法人移行後の最初の評議員候補者は 23 名( 別紙 )であり、うち 20 名が現評議員、3 名がこれまで本法人の役員等に就任した経験のない方々であること、新定款案の評議員数は 20 名以上 30 名以内であり、候補者総数はその範囲内であること、全員欠格事由該当者でないこと並びに特定勢力・団体の利益に偏向する懸念は皆無であることについて説明があった。続いて配布された資料を元に、各候補者ごとの経歴、選任理由、本法人および本法人の理事・監事との関係など、評議員候補者に関する情報等の補足説明があった。

慎重な審議の結果、候補者 23 名全員を、本法人移行後の最初の評議員に選任することを出席委員全員一致で可決した。

以上をもって議案の審議が終了し、午後 5 時半、議長は閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長および委員は署名押印する。

平成 21 年 4 月 20 日

議長 関 根 徹

委員 安 部 秀 次 郎

委員 桐 原 良 光

委員 藤 井 輝 久

委員 明 円 一 郎

[ 別紙 ]

移行後の最初の評議員候補者名簿

( 候補者氏名 )	( 現職 )	( 本法人との関係 )
長部舜二郎 ( 筆名 黒井千次 )	作家	芥川賞選考委員
池澤夏樹	作家	〃
宮本正仁 ( 筆名 宮本輝 )	作家	〃
鶴田信子 ( 筆名 高樹のぶ子 )	作家	〃
五木寛之	作家	直木賞選考委員
渡辺淳一	作家	〃
平岩弓枝	作家	〃
井上廈 ( 筆名 井上ひさし )	作家	〃
阿刀田高	作家	〃
北方謙三	作家	〃
東郷真理子 ( 筆名 林真理子 )	作家	〃
宮城谷誠一 ( 筆名 宮城谷昌光 )	作家	〃
岩戸康次郎 ( 筆名 浅田次郎 )	作家	〃
矢部みゆき ( 筆名 宮部みゆき )	作家	〃
橘隆志 ( 筆名 立花隆 )	評論家	大宅賞選考委員
柳田邦男	評論家	〃
鈴木正明 ( 筆名 西木正明 )	作家	〃
西山忠来 ( 筆名 伊集院静 )	作家	松本賞選考委員
大沢在昌	作家	〃
米山峰夫 ( 筆名 夢枕獏 )	作家	〃
平尾隆弘	( 株 ) 文藝春秋専務取締役	各賞選考顧問
寺田英視	( 株 ) 文藝春秋取締役	〃
庄野音比古	( 株 ) 文藝春秋取締役	〃

注 ) は現評議員以外の候補者。

現評議員のうち、関根徹氏は移行登記日をもって退任予定。